

令和4年度 第1回幼児教育研究推進委員会 会議録

開催要領

1. 開催日時:令和4年5月24日(火) 15:00~17:00

2. 開催形態:リモート会議(ZOOMの活用)

※運営サポート 「久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」1名

3. 参加者

	代表	職名	氏名	所属	出欠
1ブロック	小学校	校長	納富 久美子	水縄小学校	出
	保育園(私)	園長	山内 享子	船越保育所	出
	保育園(公)	園長	佐々木順子	田主丸保育所	出
	幼稚園	園長	恵利 浩明	巨瀬川幼稚園	欠
2ブロック	小学校	校長	山浦 健	山本小学校	出
	保育園(私)	園長	草場 慎一	大橋保育園	出
	保育園(公)	園長	杉 恵子	善導寺保育園	出
	幼稚園	主任	山下 順子	北野おおぞら幼稚園	出
3ブロック	小学校	校長	松本 良一	御井小学校	出
	保育園(私)	園長	川島 由子	高良内保育園	出
	保育園(公)	園長	塚本 貴子	白峯保育園	出
	幼稚園	園長	江頭 渡	合川幼稚園	欠
4ブロック	小学校	校長	小西 郁美	京町小学校	出
	保育園(私)	園長	古賀 あゆみ	わんぱく保育園	欠
	保育園(公)	園長	寺崎 美穂	松柏保育園	出
	幼稚園	園長	早川 成	久留米天使こども園	出
5ブロック	小学校	校長	石橋 豊裕	津福小学校	出
	保育園(私)	園長	木戸 保子	鳥飼保育園	出
	保育園(公)	園長	中村 智恵子	荒木保育園	欠
	幼稚園	園長	田中 和博	津福今幼稚園	出
6ブロック	小学校	校長	田中 昇	犬塚小学校	出
	保育園(私)	園長	富安 三千代	西牟田保育園	出
	保育園(公)	園長	末永 由美	犬塚保育園	出
	幼稚園	園長	市川 良美	城島すみれ幼稚園	出
ワーキングチーム	保育園(私)	園長	菊池 圭	宮ノ陣保育園	出
事務局	所長		黒木 厚子	幼児教育研究所	出
	指導主事		松尾 訓子	幼児教育研究所	出
	主事		小倉 洋子	幼児教育研究所	欠

4. 日程

- (1) 開会行事 15:00
 - ・はじめのことば
 - ・役員選出
 - ・委員長あいさつ
- (2) 本年度の事業について 15:05
 - ・これまでの経過及び本年度事業説明
- (3) 意見交流 15:10～15:30
 - ・交流内容、進め方の説明 (事務局より)
 - ・意見交流
 - <幼保は小の、小は幼保について知りたいこと、もっと見たい・聞きたいこと>
 - <『連携・接続』について、自ブロックで実践してきたこと・追究したいこと>等
- (4) 報告と助言 15:30～16:00
 - ・各ブロックからの報告 (各ブロック2分程度)
 - ・報告に対する木下先生からのご助言
- (5) 講話 16:00～16:40
「幼保小の連携・接続を推進するために～遊びと学びの可視化と蓄積～」
講師 鳴門教育大学 教授 木下 光二 先生
- (6) 閉会行事 16:40
 - ・諸連絡
 - ・謝辞
- (7) 協議 16:45～17:00
 - ・協議
 - <追究するテーマ、テーマの追究方法、連携担当者会に向けて (スケジュール) >

協議・講話の要旨

(1) 意見交流

- コロナ禍で思うように交流できず、送り出した子どもたちの成長を見られないのは残念だが、子ども同士でつながったり体験を通してつながったりすることもあった。
- 昨年度のビデオカンファがとてもよかった。幼稚園の映像を見て目からウロコが落ちる思いをした。小学校の取り組みの映像も見たい。
- 特別な配慮を要する子への関わり方など、広い視野で連携をしていきたい。
- 1年生は6年生からのお世話の対象になってしまっている。年長としてリードする力、自分でできる力を持っている。
- 1年生になって、戸惑いがあるのは間違いない。円滑に接続できた姿とはどんな姿か明らかにして実践を見合いたい。
- 幼保小のそれぞれのカリキュラムをお互いに知らなければいけない。
- 園による学びの違いをどう踏まえて小学校につなぐといいのか。

(2) 木下教授の助言

- 各ブロックで追究したいテーマを1つか2つに焦点化するとよい。
- 体験したことでどれだけ子どもが豊かになったかが大切。
- 「育ちの積み上げ」について究明するといいい。何をどのように積み上げていくのか。
- 楽しいことは夢中になって聞く、活動する。幼児期の姿にはヒントがたくさんある。
- 幼児期どんな指導をされてきたのか、指導法を学ぶことは大切。
- 「何を積み上げるのか」を言語化していくとよい。
- 安心から始まる小学校生活と不安から始まる小学校生活とでは大きく違う。
- 育てたい力は共通のものがある。園の保育の個性は生かしつつ、幼と保の横の連続性も大切。

(3) 木下教授の講話

- 見えないものはつながらない。可視化して記録する。見えれば積み上がる。
- 「～しました」よりも、その活動をして「何を学んだか」を記録する。
- 「教育課程の連続性＝接続」というのは間違っていないが、机上の作業だけでつなぐのではなく、子どもの姿でつなぐ。

(4) まとめ

《協議のキーワード》

子どもの姿 言語化 可視化 積み上げ（蓄積）